

第59回 東京・第60回 大阪 スガウエザリング学術講演会のお知らせ

〔第59回 東京〕 開催日：平成26年10月22日（水）
会 場：アルカディア市ヶ谷 3階富士の間

〔第60回 大阪〕 開催日：平成26年10月29日（水）
会 場：大阪国際会議場 10階会議室
（グランキューブ大阪）

参加登録制（聴講無料）

定員 各会場 300名

参加申込方法は、裏面をご覧ください。

後 援： 文部科学省
協 賛： （公社）高分子学会 （一社）色材協会 （公社）自動車技術会
（一財）日本ウエザリングテストセンター （一社）日本ゴム協会
（一社）日本塗料工業会 日本プラスチック工業連盟
（一社）日本防錆技術協会 （一社）表面技術協会 （公社）腐食防食学会
スガ試験機（株）

主 催： 公益財団法人 スガウエザリング技術振興財団

■ プログラム

テーマ 屋外暴露と促進試験

| 開催 期日 会場 時間割 | 東京(第59回) | 大阪(第60回) |
|-----------------------|--|--|
| | | 平成26年10月22日(水) アルカディア市ヶ谷 3階富士の間 〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921 |
| 10:00~10:10 | 開会のご挨拶 理事長 春山 志郎 | 専務理事 須賀 茂雄 |
| [1] 10:10~11:00 | 屋外暴露および促進耐候性試験による低密度ポリエチレンの劣化挙動 日本電信電話株式会社 NTT 環境エネルギー研究所 研究員 三輪 貴志 | |
| | 休憩(10分) | |
| [2] 11:10~12:10 | さまざまな用途に用いられるデジタルプリント画像の耐久性 ISO / TC42 (Photography) / WG5 Convener / TG3 Chairperson Agfa Gevaert NV Jürgen Jung | |
| | 休憩(1時間) | |
| [3] 13:10~14:00 | 金属建材用塗膜の屋外暴露試験と促進試験との相関性 関西ペイント株式会社 R&D本部CM研究所第3部 課長研究員 松田 英樹 | |
| | 休憩(10分) | |
| [4] 14:10~15:10 | 耐候性試験における理想的な光沢の定量的測定 ISO / TC35 (Paints and varnishes) / SC9・SC10・SC12・SC14 Expert NEN NC342.035 Chairman TQC B.V. Nico Frankhuizen | |
| | 休憩(15分) | |
| [5] 15:25~16:15 | 屋外暴露と各種促進耐候性試験の相関研究(第三報)ー屋外暴露結果の早期予測法ー スガウエザリング技術振興財団 耐候光研究委員会 田中 文之/渡辺 真 | |
| | 休憩(10分) | |
| [6] 16:25~17:15 | 自動車部品におけるマグネシウム材料の腐食挙動 日産自動車株式会社 企画・先行技術開発本部 材料技術部 塗料・防錆材料グループ 主担 八重樫 英明 | |

(敬称略)

17:30~19:30 懇親会 (スガ試験機(株)主催、有料 2,000円税込み)

■講演概要

み わ たか し
三 輪 貴 志

NTTの屋外電気通信設備にはプラスチック材料や塗料といった高分子材料を利用しているものも多く、促進耐候性試験を実施して高分子材料の長期信頼性を確認することは非常に重要である。今回の発表では、より短時間かつ屋外暴露に近い促進耐候性試験の実現に向けた基礎検討として、紫外線劣化時の低密度ポリエチレンの分子量分布やIRスペクトルの変化に注目して劣化挙動を分析した結果を紹介する。

Jürgen Jung

デジタルプリント画像は様々な特質を持ち、その劣化形態も使用環境の違いにより一様ではないため耐久性評価は単純ではない。また、医療画像や記録用画像、宣伝表示（広告）などへの応用の多様性も問題の一つとなっている。本講演では、ISO/TC42/WG5での過去10年の取り組みを発表し、規格化に向けた試験方法の開発と、仕様の枠組みに向けての現在の（複雑な）議論について紹介する。

まつ だ ひで き
松 田 英 樹

金属に塗装される塗料の役割は被塗物の長期にわたる保護（防食性）と美観（耐候性）の維持にある。従ってこれら長期性能を的確に予測できる促進試験技術が必要不可欠であり、種々の研究を積んできた。今回は、長期防食性について金属建材用塗装鋼板を例とし、J I Sなどで規格化されているオーソドックスな促進試験の課題を示す。続いて屋外暴露試験との相関性を高めるための考え方やびデータを紹介する。

Nico Frankhuizen

光沢の測定は、美観的要求が高く耐候性も求められるヨットや自動車製品などの塗装にとって、重要な品質管理の項目である。表面の劣化は光沢の低下によって早い段階での認識が可能である。光沢は世界中で使用されている単位だが、その定義は様々である。近年の研究によって、光沢の新たな定義付けが提案された。現在の光沢の定義にはフレネルの式しか含まれておらず、新たな定義にはISO 2813の対象をより広くするためにベックマン・キルヒホフ散乱理論を取り入れる可能性もある。この新たな定義により国家計量標準機関で使われているゴニオメーターの現行の一点校正に加え、多点校正が可能になり、それによってより正確な校正方法が実現される。これによって今まで行われてきた計測結果の再評価が必要とされ、耐候性試験の結果の相関性やその評価にも影響する可能性がある。本講演ではこの手法による違いと、耐候性試験結果への応用について紹介する。

た なか たけ ゆき わた なべ しん
田 中 丈 之 / 渡 辺 真

スガウェザリング技術振興財団耐候光研究委員会では、2009年(平成21年)より、塗装板、プラスチックについて、新宿・沖縄・アリゾナの屋外暴露試験及び各種促進耐候性試験を実施し、屋外暴露との相関性の研究を行っている。昨年に引き続き、屋外暴露試験結果を早期に予測する手法を示す。

や え がし ひで あき
八 重 樫 英 明

弊社現行スカイラインでは車両軽量化を目的にトランスミッションケースにマグネシウムを採用している。但し、マグネシウムは一般的な自動車用金属材料（鉄、亜鉛、アルミ等）と比較すると著しく卑な電位を有する為、本材料を車両部品に適用する場合、異種金属接触腐食の防止が大きな課題となる。本講演ではその課題解決への取り組みを紹介する。

(敬称略)

■参加申込方法

参加をご希望の方は、当財団 Web サイト (www.swtf.or.jp) より参加登録フォームにてお申し込み下さい。

登録完了後ご返信いたします(定員になり次第締切りとさせていただきます)。

FAXでお申し込みの場合は、下記の参加申込書をご利用ください。

○講演会参加申込書 (FAX 用)

スガウェアリング技術振興財団 行

(東京) FAX 03-3353-4753

(大阪) FAX 06-6386-5156

| | | |
|----------|--------------------------------|-----------|
| 講演会 (無料) | 東京 (10月22日) ・ 大阪 (10月29日) | (いずれかに○印) |
| フリガナ | | |
| ご氏名 | | |
| ご勤務先 | | |
| ご所属・お役職 | | |
| 電子メール | (参加登録の可否をご連絡いたしますので、必ずご記入下さい。) | |
| ご勤務先住所 | 〒 _____ 都道 府県 | |
| T E L | | |

○懇親会参加申込書 (FAX 用) (スガ試験機㈱主催)

| | | |
|----------|--------------|-----------|
| 懇親会 (有料) | 参加する ・ 参加しない | (いずれかに○印) |
|----------|--------------|-----------|

懇親会費は、当日、懇親会場受付にて現金 2,000 円 (消費税込み) をお支払いください。

■会場のご案内

東京会場

アルカディア市ヶ谷 3階富士の間

〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921



- 地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(1 または A1) 出口から徒歩 2 分
- 地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅(A1 または A4) 出口から徒歩 2 分
- JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩 2 分

大阪会場

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) 10階会議室

〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 TEL06-4803-5555



- 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口すぐ)
- JR環状線「福島」駅から徒歩(約10分)
- JR東西線「新福島」駅(2番・3番出口)から徒歩(約10分)
- 阪神電鉄「福島」駅3番出口から徒歩(約10分)
- 地下鉄「阿波座」駅(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩(約10分)

尚、シャトルバスが「リーガロイヤルホテル」(大阪国際会議場東隣)とJR「大阪駅」西側(高架下)の間で運行しておりご利用いただけます。

(公財)スガウェアリング技術振興財団

東京事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-14

Tel : 03-3354-5248 fax : 03-3353-4753

E-mail : tokyo@swtf.or.jp

大阪事務局

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 3-23

Tel : 06-6386-2691 fax : 06-6386-5156

E-mail : osaka@swtf.or.jp